

パナソニック エナジー、米国ハービンジャーの 中型商用EV トラック向けにリチウムイオン電池の供給を開始 ～最新世代セルの搭載により、商用車市場の持続可能な電動化へ貢献～

パナソニック エナジー株式会社（本社：大阪府守口市、社長執行役員：只信 一生、以下 パナソニック エナジー）は、米国の商用電気自動車（EV）メーカーである [Harbinger Motors Inc.](#)（本社：カリフォルニア州ガーデングローブ、CEO：John Harris、以下 ハービンジャー）向けに、車載用円筒形リチウムイオン電池の供給を開始します。パナソニック エナジーが供給する最新世代の 2170 セルは、ハービンジャーが米国で生産する中型 EV トラック全モデルのバッテリーシステムに標準搭載され、電動トラックの性能と効率を高める優れたエネルギーソリューションとして提供されます。

800Wh/L 超の業界トップクラスのエネルギー密度を有するリチウムイオン電池は、パナソニック エナジーの日本国内の工場で製造され、カリフォルニア州ガーデングローブにあるハービンジャーの本社工場に納入されます。将来的にはパナソニック エナジーのカンザス州デソトの新工場からのセル供給も検討しています。本協業を通じ、ハービンジャーの米国での生産拡大を実現し、商用車市場の電動化の推進によって持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2021 年設立のハービンジャーは、配送用トラックや緊急・災害対応車両など中型 EV 商用車用途に特化した米国の自動車メーカーであり、カリフォルニア州の自社工場で電動シャーシの設計から生産まで手掛けています。同社独自のストリップド・シャーシ（※）には、自社開発の電動ドライブトレインやバッテリーシステムなど主要システムがすべて搭載されており、業界でも特長的な垂直統合型のアプローチにより、コストを抑えつつ、性能、安全性、耐久性の向上を実現しています。同社は 2025 年初頭に生産を開始し、食品メーカーの Bimbo Bakeries USA やレジャー用車両（RV）メーカーの THOR Industries をはじめとする米国大手企業からの受注を含め、約 5,000 台の予約注文への対応を進めています。

パナソニック エナジーの車載用円筒形リチウムイオン電池は、優れたエネルギー密度に加え、EV 搭載の実績に裏打ちされた高い安全性と信頼性を備えています。2025 年 3 月時点で、EV 約 370 万台分に相当する約 190 億個のセルを供給しており、これまで同社の電池に起因する車両リコールは一切発生していません。ハービンジャーは、この高い安全性と耐久性を持つ電池技術を活用することで優れた車両の生産を実現します。

パナソニック エナジー社長執行役員の只信一生は、「本パートナーシップは、両社が協業してバッテリー技術を進化させる革新的な一歩となります。ハービンジャーが設計するシャーシや電池パックは業界でも高い安全性と耐久性を備えています。本協業により、ハービンジャーの生産体制の強化を支援するとともに、当社ミッションである『幸せの追求と持続可能な環境が矛盾なく調和した社会の実現』を目指します」と述べています。

ハービンジャーCEO の John Harris は、「当社の安全性や技術開発へのこだわりが、パナソニック エナジーとの協業を実現しました。パナソニック エナジーのセルは、主要 EV メーカーに搭載されている高い実績と業界トップクラスの安定品質が他社と一線を画しており、採用の大きな決め手となりました。ハービンジャーのシャーシに世界最高水準のバッテリーが搭載されることを嬉しく思います」と話しています。

※ ストリップド・シャーシ：車体上部を持たない、駆動系と車台など基本構造のみを備えた車両ベース

以上